

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第11回 企画・広報分科会
12年度活動報告・13年度活動計画(案)**

2013年4月22日
企画・広報分科会

企画・広報分科会の概要

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

松本 幸則（パナソニック R&D本部 全社CTO室 全社技術戦略室 参事）

（サブリーダー）

田畑 雅章（NTTコミュニケーションズ 第三営業本部 公共営業グループ 営業部長）

山内 正巳（KDDI 官公庁営業部 営業3グループ グループリーダー）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

2012年度の活動報告①

1. 創造系活動

- ① WG活動費を会員企業数に応じてWGに配分し、WG活動の支援を継続した。実験用機器の購入など有効に活用していただいた。
- ② シンポジウム、セミナーの機会にアンケートを実施し、協議会活動への要望等を調査した。

2. 促進系活動

- ① 協議会設立10周年記念として、けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2012「ICTの未来を展望する」を開催した（12月3日、大阪新阪急ホテル）。
- ② 総会での講演会を企画、実施した（総務省渡辺克也課長による講演、6月4日）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2012において、ブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施（11月8－10日、けいはんなプラザ）。
- ④ セミナーの開催による情報提供、人材育成の実施（7月）。
- ⑤ ウェブページにより、協議会活動の一層のPR、普及・啓発活動につとめた。
- ⑥ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net等）との交流をおこなった。
- ⑦ 地域の研究開発活動（けいはんなエコシティ推進会議、うめきたナレッジキャピタル）との連携を進めた。

3. 整備系活動

- ① 超高精細画像伝送システムの更新を開始。
- ② 新世代通信網テストベッドJGN-Xなどのネットワーク施設整備を継続。
- ③ オープンラボ施設の利用者が2社増加し活用が進んだ。

2012年度の活動報告②

	2012年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第10回 分科会 (4/10)									● 第11回 分科会 (3/7)			
創造系活動				WG活動支援 ● シンポジウム テーマ、ニーズ調査									
促進系活動	→ 総会企画準備			→ セミナー開催準備			→ 10周年記念シンポ ジウム開催準備						
				→ 随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)									
整備系活動				→ けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用									
				→ JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用									
										→ 超高精細画像伝送システムの更新			
【協議会関連】	● 第12回 運営研究 部会 (4/26)		● 第11回 総会 (6/4)		● セミナー (7/27)		● けいはんな 情報通信 フェア2012 (11/8-10)		● 協議会主催 シンポジウム (12/3)		● 第13回 運営研究 部会 (4/22)		
				→ 事務局打合せ、月1回程度開催									

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2012 開催報告

- 開催日時: 2012年12月3日(月) 13:00~17:30
- 開催場所: 大阪新阪急ホテル
- 来場者数: 92名(交流会は67名、アンケート回収数41)
- 概要

本年度は協議会の設立10周年を記念し、協議会の取り組みや研究成果の報告・広報に加えて、これまでの活動を総括し、今後の方向性を議論することを目的として開催しました。

基調講演では、吉田進京大教授に我が国が抱えるICT分野の課題と展望について包括的にまとめていただきました。株式会社ゆめみの深田浩嗣代表取締役社長は、企業経営者の立場から仕事に対する熱い思いを話され、特に若い方に大きな刺激となりました。パネルディスカッションでは、会場からも活発な意見が出され盛り上がりしました。

協議会が企業の枠を超えて研究者が集まり研究を行う場として、非常に有効に機能してきたことを多くの方に知っていただくよい機会となり、今後ともICTの種を蒔き育てる畑の役割を果たし、研究者が集まって花を咲かせる場を提供していくこととして締めくくりました。



基調講演: 吉田進氏



特別講演: 深田浩嗣氏



協議会活動のあゆみ:
山中直明氏

テーマ:

協議会設立10周年記念シンポジウム「ICTの未来を展望する」

○プログラム

◆開会挨拶・主催者挨拶

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事・部会長
丸野 進 氏 (パナソニック株式会社 理事・技監)

◆基調講演「ICT(情報通信技術)分野の展望」

吉田 進 氏 (京都大学教授 電子情報通信学会会長)

◆特別講演「ゆめみ創業の想い～モバイルからゲーミフィケーションへ～」

深田 浩嗣 氏 (株式会社ゆめみ代表取締役社長)

◆協議会活動の歩み1

「光ネットワークの相互接続性検証～標準化攻防の10年～」

山中 直明 氏 (慶應義塾大学教授 相互接続性検証WG主査)

◆協議会活動の歩み2

「技術の進化から見えてくるロボット技術・市場の将来展望」

萩田 紀博 氏 (ATR社会メディア総合研究所長)

ユニバーサルコミュニケーション分科会リーダー)

◆パネルディスカッション「情報通信技術・社会の将来像と協議会の役割」

(チェア) 高橋 幸雄 氏 (NICT社会還元促進部門長)

(パネリスト)・島田 淳一 氏 (北陸先端科学技術大学院大学特任教授)

・萩田 紀博 氏 (ATR社会メディア総合研究所長)

・二宮 清 氏 (関西文化学術研究都市推進機構理事)

・山中 直明 氏 (慶應義塾大学教授)

◆閉会挨拶

太田 清喜 氏 (総務省近畿総合通信局情報通信部長)

◆展示会・交流会



協議会活動のあゆみ:
萩田紀博氏



会員企業や関連団体のポスター展示



パネルディスカッション

超高精細映像を用いた遠隔診断セミナー 開催報告

- 開催日時： 2012年 7月 27日(金) 14:00~17:00
- 開催場所： 京都府立医科大学 基礎医学学舎 第一講義室
- プログラム：

講演1 「4K超高精細映像とマルチチャンネル映像伝送技術(オールソフトウェアコーデック)」

NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所

専門推進員 荒川 佳樹

講演2 「IT時代における画像診断の現状」

京都府立医科大学 医療情報通信学講座

助教 西田 香織

講演3 「4K超高精細映像伝送技術を用いた遠隔放射線診療:初期実験結果」

京都府立医科大学 医療情報通信学講座

助教 三浦 寛司

デモンストレーション 「4K超高精細映像伝送を用いた遠隔画像カンファレンス」

講演4 「光パケット・光パス統合ネットワーク」

NICT 光ネットワーク研究所

ネットワークアーキテクチャ研究室 室長 原井 洋明

ディスカッションと質疑

○出席者数： 63名

○アンケート回収数： 33名

○概要

(独)情報通信研究機構(NICT)と京都府立医科大学は共同で、4K超高精細映像伝送を用いた放射線診断領域における遠隔医療に関する実証実験を実施しました。遠隔画像カンファレンス等を行った結果、4K映像の遠隔医療分野における有効性が実証されました。そこで、当協議会映像コミュニケーションWGでは、この実験の報告会として、講演会およびデモンストレーションを実施しました。なお、4K映像とは、現行ハイビジョンの4倍(水平解像度約4,000画素)の解像度を持つ超高精細映像のことです。

講演1では、NICTにおける4K映像技術とその伝送技術に関する研究開発の内容を紹介しました。講演2では、放射線科における画像診断の歴史と現状を紹介しました。講演3では、今回、NICTと京都府立医科大学が共同で実施した「4K超高精細映像伝送を用いた放射線診断領域における遠隔医療に関する実証実験」の概要と実験結果を報告しました。デモンストレーションでは、会場に双方向4K映像伝送システムを構築し、遠隔画像カンファレンスの様子を実演しました。講演4では、NICTが取り組んでいる新世代ネットワーク技術「光パケット・光パス統合ネットワーク技術」を紹介しました。伝送遅延およびパケットロス的大幅に低減するオール光ネットワーク技術に関して解説をしました。最後に、ディスカッションと質疑を行いました。来場者の感想として、専門医とのカンファレンスが画像診断において重要で、そのために高精細映像や高速ネットワークの技術がおおいに役立つことが実感できた、情報通信技術の進展が医療のあり方等にも大きな影響を及ぼしつつあることがわかった、などがありました。



デモンストレーション「4K超高精細映像伝送を用いた遠隔画像カンファレンス」の様子

2013年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① WG活動費によるWG活動の支援を継続。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査の実施。

2. 促進系活動

- ① 本年度はうめきたの街開きが予定されており、見学会などを通じてうめきたナレッジキャピタル等との連携促進について検討。
- ② けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2013の開催（11月～12月予定）。
- ③ 総会において、講演会を企画（6月7日予定）。
- ④ けいはんな情報通信フェア2013において、研究活動紹介、広報活動（11月予定、けいはんな）。
- ⑤ セミナー、見学会などの開催による情報提供、人材育成の実施。
- ⑥ ウェブページを活用した協議会活動の一層のPRや広報・啓発活動の強化。特にWGのウェブページの充実をおこなう。
- ⑦ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net等）との交流促進。
- ⑧ 地域の研究開発活動との連携強化（けいはんなエコシティ推進会議等）。

3. 整備系活動

- ① 超高精細画像伝送システムの更新など、オープンラボ施設の充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けたPR、広報の実施。

2013年度の活動計画②

	2013年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年 1月	2月	3月	4月	
企画・広報分科会	● 第11回 分科会 (3/7)													● 第12回 分科会
創造系活動				WG活動支援										
				ニーズ調査、テーマ検討、体制整備										
促進系活動	→ 総会企画準備			→ セミナー開催準備			→ シンポジウム 開催準備			→ セミナー開催準備				
				随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)										
整備系活動				けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用										
	→ 超高精細画像伝送システムの更新			JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用										
【協議会関連】	● 第13回 運営研究 部会 (4/22)		● 第12回 総会 (6/7)		● セミナー、 見学会 (9月ころ)		● けいはんな 情報通信 フェア2013 (11月)		● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)		● セミナー (2月ころ)		● 第14回 運営研究 部会 (4月頃)	
				事務局打合せ、月1回程度開催										

実施目的:

- ・協議会の最近の取り組みや研究成果を講演・展示等を通じて会員へ報告する。
- ・非会員に向けて協議会活動の広報をおこなう。
- ・新たな研究ニーズなどについて調査・検討し、今後の協議会活動の方向性の議論をおこなう。
- ・産学官連携関係者との交流・情報交換をおこなう。

これまでの実施場所とテーマ:

2004年 けいはんな「オープンラボにおける産学官連携の成果」

2005年 東京「新産業創出の“鍵” —オープンラボの研究成果の活用を通じて」

2006年 大阪「ユニバーサルコミュニケーション社会の実現に向けて」

2007年 東京「ユニバーサルコミュニケーション —未来のコミュニケーションは私たちの暮らしをどう変えるか」

2008年 大阪「ICT産業の国際競争力とアジアとの連携 —日本のICT産業は世界で生き残れるのか」

2009年 東京「環境エネルギー分野におけるICTの役割 —ICTにビジネスチャンスはあるのか」

2010年 大阪「動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢 —北ヤードは何をもたらすのか」

2011年 けいはんな「新しい日本の姿に向けた情報通信の役割」

2012年 大阪「協議会設立10周年記念 —ICTの未来を展望する」